

子どもの発達と遊具の可能性

子どもや子育てに関わる人にとって欠かせない「遊具」。公園や保育園、幼稚園に設置されている身近なものですが、遊具とは何か、遊具は子どもの発達にどのような影響を及ぼすのか、といったことを考える機会はありませんか。この学習会では、遊具のベネフィット（恩恵）や可能性について学ぶと共に、遊具による重大な傷害（けが）を予防するための考え方についても学びます。子ども・子育てに関わる多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時：2021年2月20日(土) 14:00-16:30（入室開始 13:30）

形 式：Zoomによるオンライン形式

定 員：100名（先着順 定員に達し次第締め切ります）

対 象：子どもの傷害予防に関する活動を行っている人、教育・保育施設の教職員、
企業や行政の関係者、子育て支援に関する活動を行っている人、保護者
（ケアラー）など、子どものすこやかな育ちを支える人

参加費：無料

申 込：専用フォーム または QRコードから

共 催：日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ
NPO 法人 Safe Kids Japan



プログラム

- 1) 合同学習会開催にあたって
瀬戸 馨（技術士、日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ 会長）
- 2) 遊具の可能性～ベネフィットの視点から
弘永 元（RPII 国際遊び場検査士機構 - 精密点検検査士、（株）アネビー）
- 3) 保育園の「楽しくて安全な遊具」とは
松野 敬子（社会安全分野学術博士、保育園園長）
- 4) 「Guide50」（子どもの傷害を予防するための基本安全規格）で考える遊具の安全
森山 哲（技術士、労働安全コンサルタント、子どもの安全研究グループ会員）
- 5) 遊具を取り巻く最近の動き～「教育・保育施設における遊具の安全基準策定」について
西田 佳史（東京工業大学教授、Safe Kids Japan 理事）
- 6) おわりに
山中 龍宏（小児科医、緑園こどもクリニック院長、
Safe Kids Japan 理事長）



お問い合わせ→公益社団法人日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ

URL : <https://kodomonozanzen.jp/>

Eメール : seto_engineer@office.nifty.jp（瀬戸 馨）